

令和2年度
北名古屋市教育委員会基本方針

北名古屋市教育部

I 学校教育課

1 基本方針

学校教育は、児童生徒が生涯にわたり、人間としての成長と発達を続けていく基盤となる力を養うとともに、国家及び社会の有為な形成者としての資質を育てることを目的として行うものです。

各学校においては、「学習指導要領」及び「北名古屋市教育大綱」並びに「北名古屋教育推進スキーム」に基づき、児童生徒が学校生活を営む上で必要な規律を重んじるとともに、自ら進んで学習に取り組む意欲を高める。さらに、児童生徒のすぐれた個性を伸ばし、知・徳・体の調和のとれた人間形成を図り、自他の敬愛と協力を重んじ、公共精神を尊び、創造的で活力に満ちた社会の発展に尽くす態度を養う。

教職員は、教育者としての使命を自覚し、絶えず研究と修養に励み、学習指導要領及び学校教育法等関係法の趣旨を十分理解し、校長の指導のもと一致協力して学校教育の推進に努力されることを期待する。

2 基本的理念

先人の築いてきた郷土を愛し、ともに手をたずさえ、未来にはばたく市民を育成する。

- (1) 命を尊び、こころやからだを鍛え、たくましく生きる力を養う。
- (2) 真理を求める態度と、自ら学び、深く考え、広い視野をもって主体的に行動する力を養う。
- (3) 礼節を重んじ、自らを律し、他とともにこころ豊かな生活を築く態度を養う。

3 重点目標

「規律」「学力」「自己有用感」をキーワードに、児童生徒に「生き抜く力」を育む信頼される学校教育を推進する。

(1) 社会を生き抜く力を育む

①学習指導を工夫し、学習指導要領の内容を確実に習得、育成する。

②カリキュラムマネジメントを徹底する。

○全国学力・学習状況調査及び標準学力検査の調査結果に基づき、検証改善サイクルの取組を全校体制で実施し、調査結果(上位層及び下位層割合)が前年度より改善する。

○小学校及び中学校9年間を通じて育成する資質・能力及び課題を小中が連携して明確化し、一貫した教育に取り組む。

③GIGA スクール環境を活用した学習活動を積極的に推進する。

- 「学びのSTEM化」「学びの個別最適化」をキーワードに一人一人に個別最適化され、創造性を育む教育を推進するとともに、情報社会を生き抜く力を育む。
- (2) 小保幼連携教育を推進する。
 - 北名古屋市版スタートカリキュラムを作成・推進する。
- (3) いじめ、不登校等への取組を徹底する。
 - 学ぶこと、友達と関わるのが楽しい学校・学級づくりに努める。
 - 「児童生徒理解・支援シート」の活用を促進する。
- (4) 地域とともにある学校づくりを推進する。
 - 北名古屋市版コミュニティ・スクールの学校園化を推進し、コミュニティ・スクールの小中連携を促進・強化する。
- (5) 教育環境を充実する。
 - GIGA スクール構想による一人一台 ICT 端末と高速大容量の校内 LAN 整備を着実に実現する。
 - 教育の質の向上をめざし、教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針及び多忙化解消計画並びに部活動指導ガイドラインを遵守し、小学校専科指導の充実や教員育成指標を活用し、学び続ける教員への支援を充実する。

II 生涯学習課

1 基本方針

本市では、「北名古屋教育推進スキーム・生涯学習編（2019年度～2023年度）」を作成し、新たな目標を掲げ、実りある生涯学習施策に取り組んでいる。

人生100年時代を迎えたが、これからの未来は、予測困難な時代で、人工知能（AI）等をもたらす技術革新により大変革をもたらす「超スマート社会（Society 5.0）」が到来すると言われている。加えて生産年齢人口が減少し、少子高齢化が急速に進む中で、超スマート社会を生き抜くためには、社会教育、生涯学習はどうあるべきか、私たちに突き付けられた命題となっている。

基本方針として「夢と志を持ち、可能性に挑戦し生き抜くために必要な力を育成する」、「生涯学び、成長し、活躍できる環境を整える」、「教育政策推進のための基盤を整備する」の三つの柱を設定し、目標に向けて、各種事業を展開していく。

2 重点目標

(1) 夢と志を持ち、可能性に挑戦し生き抜くために必要な力を育成する。

ア 学びへの参加のきっかけづくりの推進

学びと活動が、人の内面の成長や充実した人生、豊かな地域づくりにつながることから、様々な学習機会の提供に加え、参加のきっかけづくりを推進する。

イ 多様な団体等との連携・協働の推進

地域の創生には多様な団体等との連携・協働が不可欠なことから、それぞれの団体等が有している学習資源を活用することで、WIN-WINの関係づくりを目指す。

(2) 生涯学び、成長し、活躍できる環境を整える。

ア 人生100年時代を見据えた生涯学習の推進

全ての市民が、生涯を通じて自らの人生を設計し活躍することができるよう、「学び」と「活動」の生涯学習を提供し、実りあるライフスタイルを形成する。

イ 社会人のリカレント教育の推進

学びたい人がいつでも学ぶことができ、必要に応じて学習に参加できる再教育（学び直し）システムの構築を進める。

ウ 新しい時代に向けた社会教育施設の有効活用

人づくりや地域づくりを支援する施設として、また、大勢の集客を呼べる施設として、利用しやすく親しまれる施設運営を目指す。

(3) 教育政策推進のための基盤を整備する。

ア 安全・安心で質の高い放課後児童対策の推進

ワーキングマザーの働き方を支援するため、また放課後の安心・安全な居場所を確保するため、児童クラブとともに進めている放課後子ども教室の充実を図る。

イ 土曜学習の推進

子どもたちの土曜日の豊かな教育環境の実現に向けて、地域、団体等の協力を得て、持続可能で有意義な土曜学習を推進する。

Ⅲ スポーツ課

1 基本方針

国の「第2期スポーツ基本計画」では、スポーツを「する」、「みる」、「ささえる」といった多様な形での「スポーツ参画人口」を拡大し、人々がスポーツの力で人生を楽しく健康で生き生きとしたものとし、活力ある社会と絆の強い世界を創るという「一億総スポーツ社会」の実現を目指している。

こうした動きの中、本市においては、「第2次北名古屋市総合計画」、「第2期北名古屋市教育大綱」及び「第2期北名古屋教育推進スキーム」の理念を踏まえ、地域に根ざした健康で活力に満ちたスポーツ及びレクリエーション活動を推進し、市民が自主的・主体的に活動することで心身の健康や体力の保持増進を図ることができるまちを実現するため、基本方針を「誰もがスポーツに親しみ、健康と絆を育むスポーツ環境を整える」と定め、スポーツの推進に取り組めます。

2 重点目標

(1) ライフステージに応じたスポーツ活動の推進

市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む基盤として、市民の誰もが各々の年代や関心、適正等に応じて日常的にスポーツに親しむ機会を充実する。

(2) スポーツ実施率の向上

これまでスポーツに関わってこなかった人が気軽にスポーツに親しめるようなスポーツのスタイルを提案し、成人のスポーツ未実施者（1年間に一度もスポーツをしない者）の数がゼロに近づくことを目指す。

(3) スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保

スポーツに関わる人材の全体像を把握しつつ、指導者、専門スタッフ、審判員、経営人材等、スポーツ活動を支える人材の育成と活躍の場の確保を図ることにより、スポーツ参画人口の拡大に向けた環境を整備する。

(4) スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用の促進

市民のスポーツ参画人口を増加させるため、スポーツ施設の充実と学校体育施設の有効活用を促進する。